

你好！台湾の高校生が教育旅行で当市を訪問



- ①ピザの生地打ちに初めて挑戦！
 - ②十和田産野菜を使ったお弁当を食べながら懇談
 - ③台湾の生徒からプレゼントを渡され、嬉しそう
 - ④生け花に興味深々。華道部員から手ほどきを受ける
 - ⑤学校紹介などを行った生徒会の皆さんと一緒に記念撮影
- (①②三本木農高③④⑤三本木高)

不安を抱えながら初めて訪れた日本で「うちの娘」と温かく迎え入れてくれた十和田のママ、パパ。言葉が伝わらなくても心は伝わります。1泊2日の短い期間でしたが、離村式では、あふれる涙と、別れを惜しむハグで感謝の気持ちを表していました。

5月22日・23日、台湾台北市の新店高級中学校（※）の生徒35人が教育旅行として当市を訪れ、市内高校との学校交流や農家に宿泊し、農業を経験する農家生活体験を行いました。

22日、三本木農業高校（瀧口孝之校長）と三本木高校（福井武久校長）を訪問した一行は、三農ではピザ作りを、三高では授業や部活動を見学。片言の日本語や英語で積極的に地元生徒と話し、交流を深めました。

夕方に行われた入村式では、受け入れ農家と初対面。それぞれの滞在先へ移動し、その晩は、ひつつみ料理作りや浴衣の着付けなど日本ならではの生活を体験しました。

翌23日、田植えの手伝いや畑の草取りを行い、初めて経験する農業に「楽しい」と笑顔を見せていました。

※日本の高校に相当



- ⑥田植えの前に滞在先の家族と記念撮影
- ⑦⑧長ネギ畑の草取りや育苗箱を運ぶ作業を体験しました。
- ⑨日本のママ、パパとの別れ。あふれる涙が止まりません

インタビュー



フウアン チューン 黄 芷芸さん (新店高1年)

日本の農業に憧れていました

農業を体験するのは初めてですが、日本の農業の漫画を読んで、日本の農業に憧れていました。滞在先の家族はみんな優しく、畳や温かい布団のある和室は最高でした。朝ご飯では初めて生卵を食べましたが、おいしかったです。台湾に戻ったら日本での農業体験をたくさん友達に話します。



苫米地 ヤス子さん (受け入れ農家)

素直さが彼女たちの一番の魅力

会話は互いに拙い英語でしたが、理解できました。和装で華道と茶道を体験してもらいましたが、みんな素直に喜んでいました。その様子を見て、日本の高校生も自国の伝統文化にもっと触れてほしいと感じました。国を超えて親子のように過ごした、この楽しい時間をもっとたくさんのかたに体験してほしいです。

人口と世帯 平成26年5月末現在 ※ () 内は前月比

- 人口/64,232人 (-34人) 男/30,747人 (-14人) 女/33,485人 (-20人)
- 世帯数/27,170世帯 (+17世帯)



～今日も無事でいてほしい～
みんなでつくろう安全・安心なまち
セーフコミュニティ十和田

